

# 問題



1. 聞き上手の話し下手
2. 誉め手千人悪口万人
3. 誉めらるる身の持ちにくさ
4. 聞いた百文より見た一文
5. 聞かずに一杯



1. 明るけりや月夜だと思ふ
2. 善悪は友に依る
3. 風月を友とする
4. 光あるものは光あるものを友とす
5. 光るほど鳴らぬ

この漫画のタイトルは1〜5のうちのとれだと思えますか？

○印を付けて下さい

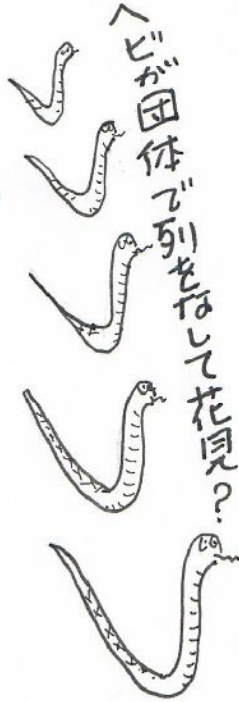


# 問題

# ハゲます会



ひかり  
光あるものは光あるもの  
ひかり  
光あるものは光あるもの  
とも  
光あるものは光あるもの



動物には二とおりある。群れをなすものと

なさないもの。

森林やサバンナに生息するヒョウは決して

群れない。単独で行動するヒョウでありなが

ら、一匹オオカミである。

へびなんかも団体で列をなしてお花見に出

掛けたりしたのは見たことがない。

一方、ヌーは、南アフリカ東部に分布する。

ガッチリした角を持った強面のヌーは、果てしないほどの大群を作って、砂ぼこりを上げて移動する。

ご存知のように、小川のなかの学校に通うメダカは、『どかくメダカは群れたがる』と言われるとおり。

人間の場合はどうか。

人間は本能というより、生活していく上で群れたり群れなかつたりするように思う。秀才には秀才が集まり、私のような落ちこぼれには落ちこぼれが集う。傲慢じゃないが、私は子供のころから、単独行動が苦手であった。一人で行動する度胸がなかったのである。

赤信号みんなで渡れば恐くない性格だった。社会に出てもその癖は変わらなかった。

会社に入っすぐ、行動を共にする気のあった5人と五人組になった。二次会もナンパも5人だった。そして5人揃って定年になったが、5人とも課長止まりだった。何の不思議もない。類は友を呼ぶだった。

断っておくが、「光あるものは光あるものを友とす」は、知恵のある者は自ずと知恵のある者を選んで友とする、性質の同じものは自然に集まるという例えである。

ハゲチャビンにはハゲチャビンが集まるの意味ではない。お間違えのないように。

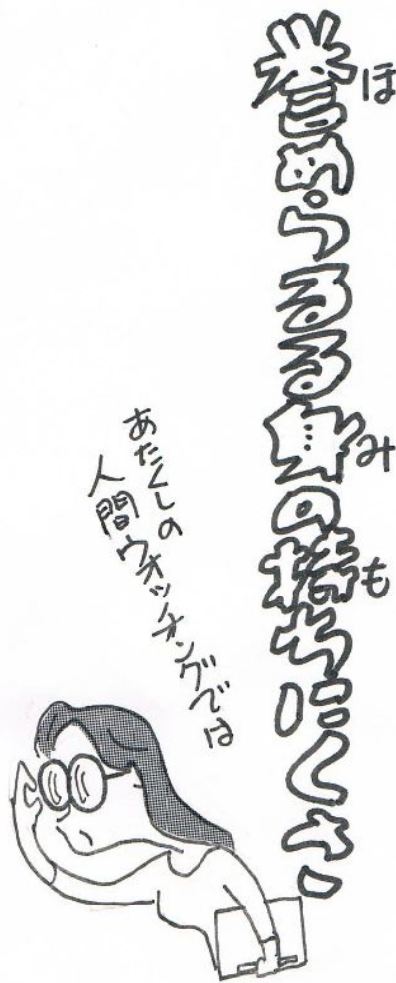
# ハゲます会



# おかしな人間観察

あたくし暇に飽かせて人間を観察してきましたの。  
 あたくしの観察によると、人間、貶されたときの反応は大差がございませぬが、誉めら

れた場合は、人によってかなり異なることがわかりましたの。  
 貶されれば、ほとんどの人は不愉快になつて、ときには、取っ組み合いの喧嘩に発展す



ることもございませぬ。  
 それにひきかえ、誉められた場合は、有頂天になって踊り出す人もいらつしやるし、照れて身の置き場がないかのように、恥じ入る素振りをする方もいらつしやる。  
 あたくしは、あたくしの観察で、人間は誉められたときの反応で、その人の正確が把握できることに気がつきましたの。人は誉められたときこそ、その人の人柄が現れると言つてもケゴンの滝ではないと確信しましたの、観察してて。  
 あたくし、誉められて素直に喜ぶ人は、本質的に素直な性格だからつまらないの。誉めているのか貶しているのか判断がつかない場合の処し方が面白いの。たとえば、「あら、そのサングラス、オードリー（ヘップバーン）が『ティファニーで朝食を』で掛けていたのと同じじゃない？ あのとときのオードリーステキだったわねえ」と言われて（あたくしが掛けるとステキじゃないのか）それとも（あたくしもステキなのか）（どっちなんだ）という表情が人間観察してて面白いの。  
 ちなみに、「誉めらるる身の持ちにくさ」とは、なまじ世間から賞賛されたりすると、やたらなことができなくなつて窮屈だということ。

# おかしな人間観察